

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-507687(P2005-507687A)

【公表日】平成17年3月24日(2005.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2005-012

【出願番号】特願2003-531620(P2003-531620)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/07 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 2 0 B

A 6 1 B 5/07

【手続補正書】

【提出日】平成16年5月26日(2004.5.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生体内センシング装置であって、
画像センサと、
磁界によって操作可能な少なくとも1つの要素とを含む、生体内センシング装置。

【請求項2】

要素はコイルである、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

要素はダイポールを有する磁石である、請求項1に記載の装置。

【請求項4】

磁界によって操作可能な3つの要素を含む、請求項1に記載の装置。

【請求項5】

外部受信ユニットにデータを無線で伝送するよう構成される送信機をさらに含む、
請求項1に記載の装置。

【請求項6】

データは、画像データ、生体内環境データ、位置データまたはこれらのいずれかの組合せを含む群から選択される、請求項5に記載の装置。

【請求項7】

要素は送受信機である、請求項1に記載の装置。

【請求項8】

生体内センシング装置における操縦可能な受信機であって、前記受信機は磁界によって操作可能な少なくとも1つの要素を含む、操縦可能な受信機。

【請求項9】

生体内的装置を操作するためのシステムであって、
センシング装置を含み、前記センシング装置は、磁界によって操作可能な少なくとも1つの要素を含み、前記システムはさらに、
要素を操作する少なくとも1つの信号を生成するよう構成される信号源を含む、システム。

【請求項 10】

外部受信機をさらに含む、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 11】

センシング装置は画像センサをさらに含む、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 12】

信号源は変動電磁界発生器である、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 13】

センシング装置は送信機を含む、請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 14】

送信機は少なくとも位置信号を伝送するよう構成される、請求項 13 に記載のシステム。

【請求項 15】

センシング装置の場所または位置を計算するよう構成された処理ユニットをさらに含む、請求項 9 に記載のシステム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】

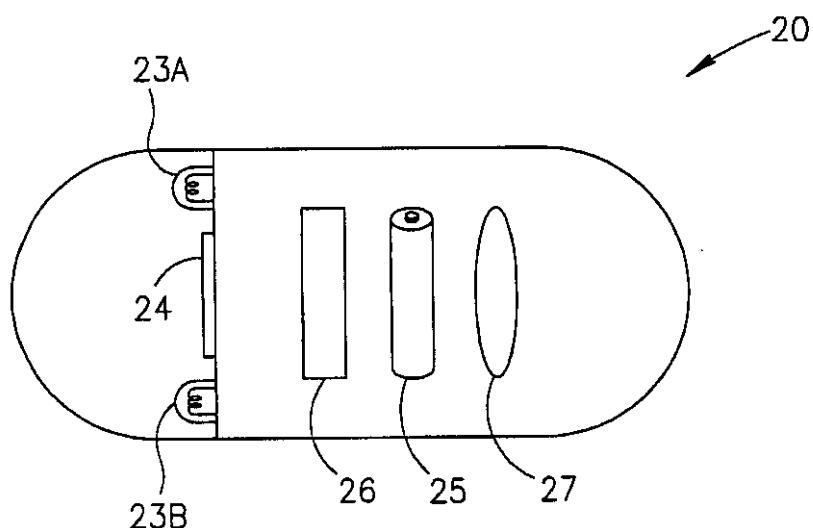


FIG.2